

平成30年11月12日

報道機関各位

「食品ロボット実証ラボ（ROBOLABO）：ロボラボ」 オープニングセレモニーについて

北海道立総合研究機構（道総研）では、今年度、工業試験場内に“食品ロボット実証ラボ（通称：ROBOLABO（ロボラボ））”を新設いたします。

本施設には各種ロボットやセンサを整備し、食品加工メーカー等に対するロボット導入の担い手（SIer）を育成する実践研修などを実施することとしております。

「ロボラボ」開設にあたり、下記により「開所式」を開催するとともに、道内関係企業等を対象とした「生産性向上ロボット導入・活用セミナー」を実施しますので、お知らせします。

（参考資料）

○開催案内リーフレット

※SIer（システムインテグレーター）

1 開所式について

（1）日 時：平成30年11月20日（火）11：00～11：40

（2）場 所：工業試験場 1F 研修室及び505号室（ロボラボ）
（北区北19条西11丁目）

（3）出席者：国、道、経済・業界団体等の関係者、その他（報道関係者）

（4）概 要

11：00～11：15	①道総研挨拶：理事長 ②来賓挨拶：北海道経済産業局、北海道	1F 研修室
（場所移動）	来賓・報道の皆様には会場の移動をお願いします。	
11：20～11：40	③テープカット：道総研、経産局、道、道経連、ロボット ④機器説明/デモ	505号室 （ロボラボ）
セレモニー終了後 （11：40頃）	報道機関向け説明 （多少時間が前後いたします。ご了承ください。）	505号室 （ロボラボ）

2 生産性向上ロボット導入・活用セミナー及びロボラボ見学会について

（1）日 時：平成30年12月4日（火）13：30～16：30

（2）場 所：道総研プラザ セミナールーム及び工業試験場505号室（ロボラボ）
（北区北19条西11丁目）

（3）対象者：道内食料品製造業、システムインテグレーター企業、他

（4）定 員：60名

（5）概 要：記念講演（経産省担当者、ロボットメーカー）、見学会

◎報道（取材）に当たってのお願い

・多くの皆様を知っていただけるよう、当日の取材についてよろしくお願いたします。

なお、ロボット調整中のため、セレモニー前のロボラボ撮影は対応できませんので、あらかじめご承知お願いたします。

・また、セミナーの開催につきましては、広くご案内いただきますようお願いたします。

◎同時配付先

道政記者クラブ

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

産業技術研究本部 総務部長 山本 厚志

TEL：011-747-2330（直通）

※平日8：45～17：30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。

報道機関各位

「食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO:ロボラボ)」 オープニングセレモニーについて

北海道立総合研究機構(道総研)では、今年度、工業試験場内に“食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)”を新設し、本道食品加工メーカーに対するロボット導入の担い手(SIer)を育成するため、各種ロボットやセンサ等を整備し、この施設を活用した実践研修などを実施します。

つきましては、「ロボラボ」開設にあたり、下記により「開所式」を開催するとともに、道内関係企業等を対象とした「生産性向上ロボット導入・活用セミナー」を開催しますので、お知らせします。

なお、同施設を活用した研修事業は平成30年12月開始する予定です。

※SIer(システムインテグレーター)

1. 開所式について

(1) 日 時：平成30年11月20日(火) 11:00~11:40

(2) 場 所：産業技術研究本部 工業試験場

1F研修室、505号室(ロボラボ)

(3) 出席者：国、道、経済・業界団体等の関係者、その他(報道関係者)

(4) 概 要：11:00~11:15 (1F研修室)

①道総研挨拶：理事長

②来賓挨拶：北海道経済産業局、北海道

(場所移動)

11:20~11:40 (505号室(ロボラボ))

③テープカット：道総研、経産局、道、道経連、ロボット

④機器説明/デモ

(セレモニー終了後)

11:40~12:00 報道機関向け説明

2. 生産性向上ロボット導入・活用セミナー及びロボラボ見学会について

(1) 日 時：平成30年12月4日(火) 13:30~16:30

(2) 場 所：道総研プラザ セミナールーム/工業試験場505号室(ロボラボ)

(3) 主 催：(地独)北海道立総合研究機構/北海道経済産業局

(4) 概 要：記念講演(経産省担当者、ロボットメーカー)、ロボラボ見学会

(5) 対象者：道内食料品製造業、システムインテグレーター企業、他

(6) 定 員：60名



カワダロボティクス(株)



三菱電機(株)

食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)について

- ◆経産省「地域における中小企業の生産性向上のための共同基盤事業」(H29補正、総事業費8,500万円)を活用し、当場内に「食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)」(通称：ロボラボ)を新設。
- ◆本道初の「ロボットSIer(システムインテグレーター)の育成拠点」として各種ロボットを用いた実践的な技術習得を支援など、中小企業のロボット活用に係る供給側・需要側の双方に対する様々な支援拠点として、食品分野をはじめ道内製造業の生産性向上に寄与していく。

【食品分野に特化したロボット等の機器整備】

3つの作業（ランダムピッキング、コンベアトラッキング、人協働作業）に対応したロボットと関連機器を導入。多品種少量生産、不定形物など様々なワークのシミュレーションが可能。

	<p>【設備名】 垂直多関節型ロボット （三菱電機(株) 製）</p> <p>【特 徴】 人の腕の構造に近く、複雑な動作が可能。</p> <p>【用 途】 回り込む動作を必要とする作業。 例：乱雑にバラ積みされたワークのピッキング。</p>
	<p>【設備名】 スカラー型ロボット （株デンソーウェーブ 製）</p> <p>【特 徴】 水平方向の動きに特化し、高速な動作が可能。</p> <p>【用 途】 平面的な範囲内で高速性が求められる作業。 例：コンベアで移送されるワークのピッキング。</p>
	<p>【設備名】 人協働型ロボット（単腕） （株安川電機 製）</p> <p>【特 徴】 安全柵を必要としないため、柔軟な生産ラインが構築可能。</p> <p>【用 途】 人と同じ作業スペースで行う作業。 例：お弁当の盛り付け作業の補助。</p>
	<p>【設備名】 人協働型ロボット（双腕） （カワダロボティクス(株) 製）</p> <p>【特 徴】 人の上半身とほぼ同じ構造で、人と同等程度の動作が可能。</p> <p>【用 途】 単腕では不可能な複雑な作業。 例：段ボール箱の開梱、検査、梱包。</p>

【食品加工現場を想定した実践研修の開催】

道内中小企業（製造業・IT企業等）を対象にロボット等の実機を用いたロボット操作、対象物認識、対象物把持といった技術を習得するための実践研修を展開

研 修 名	研 修 期 間	研 修 内 容
スカラー型ロボット研修	平成30年 12月18日～19日	<ul style="list-style-type: none"> ロボット操作技術（本体操作、シュミレータ操作） 対象物認識技術（加工対象食品を認識する2D画像処理・分析）
垂直多関節型ロボット研修	平成31年 1月22日～23日	<ul style="list-style-type: none"> ロボット操作技術（本体操作、シュミレータ操作） 対象物認識技術（加工対象食品を認識する3D画像処理・分析）
人協働型ロボット研修・3Dプリンタ研修	平成31年 2月19日～21日	<ul style="list-style-type: none"> ロボット操作技術（本体操作、シュミレータ操作） 対象物認識技術（加工対象食品を認識する3D画像処理・分析） ロボットハンド開発・制作のための3Dプリンタ操作技術